

# LipoTEST Case Report vol.5

2009年9月

## Case5: 生化学検査から貧血と診断され、甲状腺機能低下症と高脂血症と判断された犬の1例

### 【Profile】

- ・動物種: 犬
- ・品種: シェットランドシープドック
- ・性別: 雌
- ・年齢: 6歳3ヶ月
- ・体重: 12.2kg
- ・B.C.S = 3

#### ■病歴:

来院時に貧血の臨床症状は認められなかったが、血液検査上の貧血が確認された。その際の生化学検査で高脂血症が見られ、1ヶ月の経過観察後も高TG血症、高Cho血症に変化は認められなかった。

### 【検査】

#### ■院内検査

##### ○身体検査

特に顕著な症状は無し。

##### ○血液検査

- ・肝酵素の上昇  
(AST 109U/L、ALT 85U/L)
- ・脂質の異常な高値  
(T-Cho > 450 mg/dl、TG > 500mg/dl)

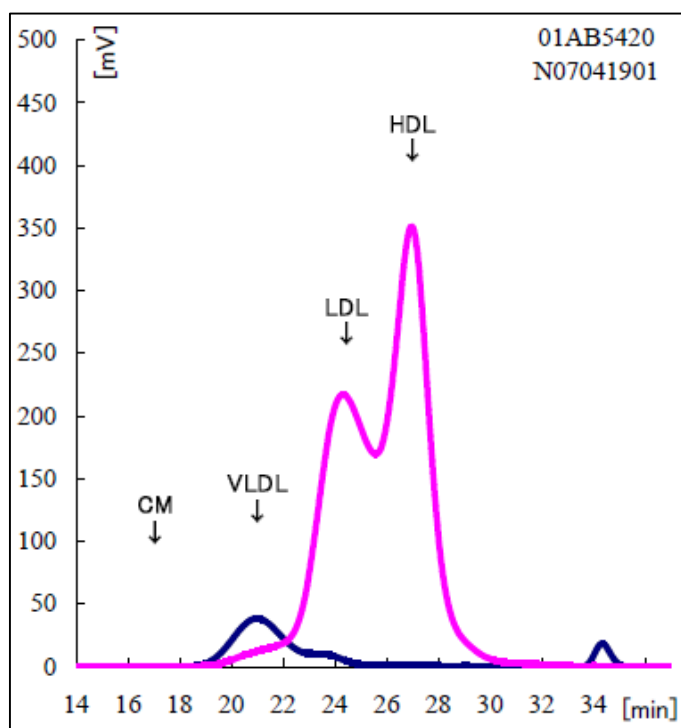
##### ○甲状腺機能検査

- ・T3, < 0.10ng/ml & T4, < 0.50ug/ml

#### ■LipoTEST検査所見(1回目)

分類: パターン3・複合型

軽度のVLDL-TGの高値と、特にLDL-Choの著しい高値を示した。波形では描写されない大粒子のCMの存在が示唆された。



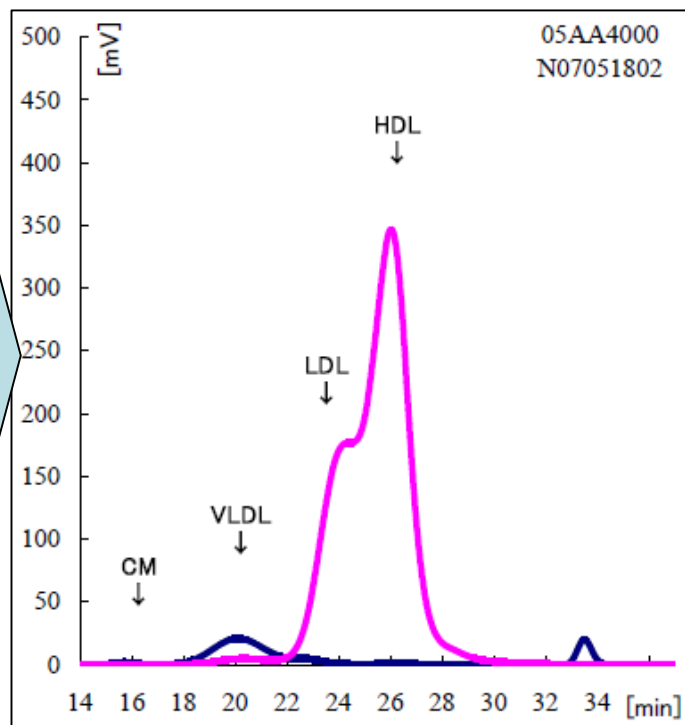
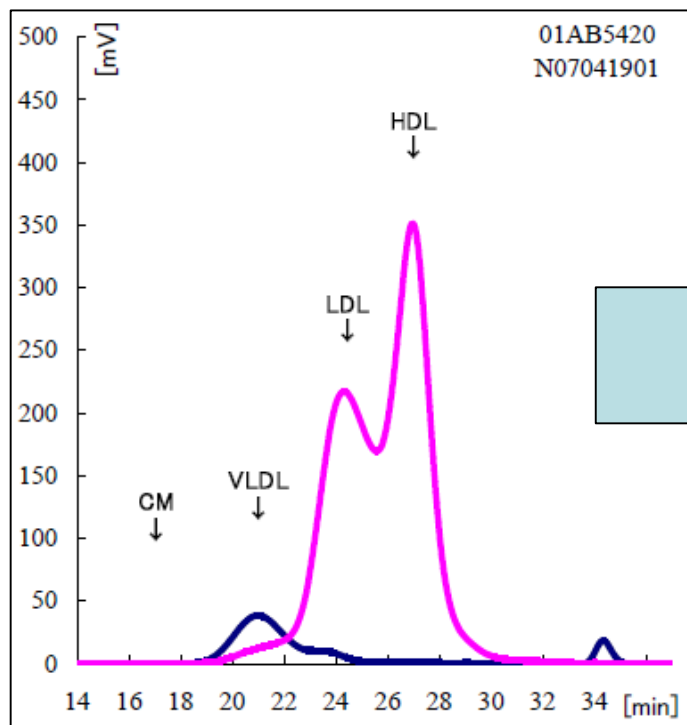
### 【治療計画】

- ・ LipoTESTの結果から高脂血症、甲状腺機能検査から甲状腺機能低下症が示唆された。
  - ・ 甲状腺機能低下症にはT4製剤を投薬した。
  - ・ 高脂血症についてはフェノフィブラート(3mg/kg, SID)を投薬した。
  - ・ 経過観察後、1ヶ月後に再検査を行った。
- ⇒ 裏面に続く

## 【LipoTEST 波形データの変化】

～ 1回目結果 ～ Day1

～ 2回目結果 ～ Day29



## 【解析結果に基づく治療への評価】

- 高脂血症治療前に見られた各分画の顕著な高値が、フェノフィブラート投与により全ての項目で減少を認めた。大粒子のCMが消失し、特にLDL-C=430mg/dl、VLDL-TG=106mg/dlと低下した。
- ALTは若干の増加が見られたが、T3<0.26ng/ml、T4=1.99ug/mlと、T4の値が正常範囲内まで上昇した。その後T4製剤とともにT3製剤を併用し、甲状腺ホルモンのコントロールとフェノフィブラートによる高脂血症のコントロールを行っている

症例提供: 日本獣医生命科学大学 水谷尚先生 (東京都)

### ◆LipoTESTに関するお問合せ先 スペクトラム ラボ ジャパン 株式会社

\* 検体送付キットの請求は、下記記入のうえ、FAX (03-5731-3631)にてご返送下さい。

病院名		氏名	
住所		TEL	

詳しい情報に関しては、LipoTEST Webをご覧ください。URL: <http://www.lipotest.jp/>